

太郎君の学級では、体育の授業でバスケットボールを行っています。次の会話や資料を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔会話文〕

太郎：前回、バスケットボールの試合をしたときに、ぼくはバスケットボールが苦手なので、1度もシュートをする事ができませんでした

花子：わたしも、ほとんどボールを持つことかできませんでした。

先生：そうですね。では、今回は〔特別ルール〕で試合をしてみましょう。

〔特別ルール〕

- 5人ずつの2つのチームで、試合を行います。
- 試合は、チームごとに、攻撃側と守備側に分かれて行います。
- 攻撃側のチームが5回連続で攻撃をし、5回の攻撃が終わったら、守備側と交代します。
- 先に守備側だったチームが5回攻撃をしたら、試合は終わりになります。
- 1回の攻撃は、シュートの成功や失敗にかかわらず、攻撃側のチームのだれかがシュートをするか、パスやドリブルを失敗し、相手にボールをとられた場合に終了となります。
- シュートを入れた得点は5点としますが、その試合で同じ人が再びシュートを入れた場合の得点は1点とします。
- 1回の攻撃で、攻撃側のチーム全員がボールを持ち、シュートが成功した場合は、さらに5点を追加します。
- 5回の攻撃の得点の合計が、チームの点数となります。

〔問題1〕

〔会話文1〕の〔特別ルール〕について、先生が〔特別ルール〕を考えた理由としてあてはまるものを、次の①～⑤の中からすべて選び番号で答えなさい。

- ① シュートの得点を5点とすることで、チームのシュート数を増やすため。
- ② バスケットボールの苦手な人が、長くボールを持ち続けるようにするため。
- ③ より多くの人がシュートをするようにするため。
- ④ 攻撃側のチームが5回連続で攻撃をすることで守備の時間を短くし、攻撃の時間を長くするため。
- ⑤ バスケットボールが苦手な人もボールを持つ機会を増やすため。

太郎君のチームでは、〔特別ルール〕での試合の流れをふりかえることができるように、試合の記録の方法を考えました。

[会話文2]

**先生**：太郎君たちが考えた〔試合の記録〕は、この試合でだれからだれにパスをしたのか、また、だれがシュートをしたのか、〔試合の記録のかき方〕に従って、見やすくまとめられていますね。

**太郎**：1回目の攻撃では、春子さんから花子さん、花子さんから秋子さんへパスが成功して、秋子さんがシュートをしました。シュートは失敗でした。

**花子**：そうですね。2回目の攻撃では、秋子さんのシュートが成功しましたね。

**太郎**：先に守備側だったわたしたちのチームが攻撃側になったとき、相手チームの点数は18点でした。5回目の攻撃で、花子さんの判断のおかげで逆転して勝つことができました。

**先生**：そうですね。5回目の攻撃で、4本目のパスを受け取った人が、そのままシュートをして、勝敗が決まりましたね。〔試合の記録〕は、途中までしかかかれていないので、続きを完成させましょう。

[試合の記録]

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
花子	●	●	●	● <sup>Ⓢ</sup>	
太郎		●		●	●
春子	●	●	●		●
夏子					
秋子			●		●

※上記の記録は、各マスに記号を記入し、線でつなぐことで完成させます。

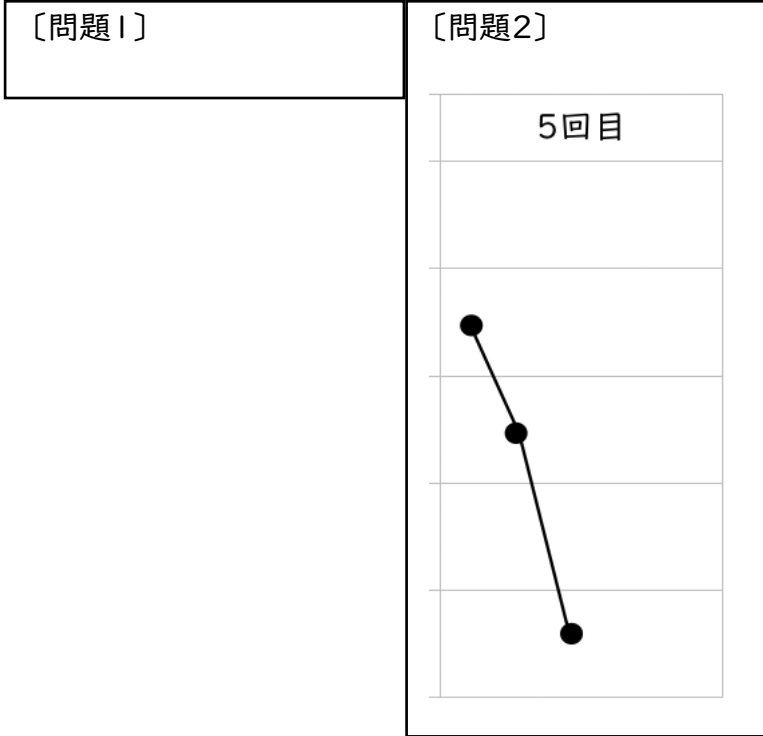
[試合の記録のかき方]

●	：ボールを持つ、またはドリブル	×	：ドリブル失敗
●—●	：パス成功	●—×	：パス失敗
Ⓢ	：シュート成功	s	：シュート失敗

※シュートの記号は、シュートをした人のマスの中に記入します。

[問題2]

[試合の記録] の5回目のらんの続きを書き、完成させなさい。



解答

〔問題1〕

- ①は特別ルール5つめに「だれかがシュートをするか、ボールをとられたら攻撃終了」とあり、このルールではシュート数は最大で5本までになるのでシュートを増やすことはできないから誤り。
- ②は「持ち続ける」とあるが、特別ルール内にボールを持ち続けることへの記載がないので誤り。
- ③は特別ルール6つ目で同一人による複数回のシュートの得点を減らしているの  
で、5人全員が1回ずつシュートをするを目的にしたルールと言える。よって、正  
しい。
- ④は攻撃の時間がもう一方のチームの守備の時間となるので誤り。
- ⑤は特別ルール7つ目で「攻撃側のチーム全員がボールを持ちシュートが成功した  
場合5点追加」とあるので、5人全員でボール回しすることを目的にしたルールと言え  
る。よって、正しい。

〔問題2〕

特別ルールと試合の記録より、2回目で秋子のシュートが成功し5点、4回目で花子のシュートが成功し5点入っている。  
この時点で10点なので会話文2の太郎が言う、「18点の相手チームを逆転」するには、特別ルール6つ目の「初シュート成功」での5点と、特別ルール7つ目にある「全員がボールを持ち」の5点、合計10点が必要になる。  
また、会話文2の太郎、先生の発言より、花子のパスを受けた人がシュートするので、全ての条件を満たすのは5回目でまだボールに触れていない、夏子のシュートが成功するときになる。

